

ナガエツルノゲイトウの被害対策について

○ ナガエツルノゲイトウとは

- 南アメリカ原産の植物で主に水辺に生息しています
- 外来生物法で特定外来生物に指定される前は、観賞用の水草として、国内に輸入・流通していました
- 繁殖力が強く、在来の水草の生息場所を奪ってしまいます
⇒【再生力 大】数cmの茎の断片からも容易に発根します
【拡散力 大】茎は、ちぎれやすく、水にも浮きやすいです
【侵略性 大】乾燥にも強く、畑地などにも侵入します
- 全国 25 の都府県で確認されており、本県では、中部の巴川水系、東部の南伊豆青野川水系、清水町の柿田川などで確認されています
- 生態系や農業への悪影響の恐れがあり、「特定外来生物」に指定されています



静岡市の繁殖状況(令和5年)



ふじのくに特定外来生物リーフレットより抜粋

○ ナガエツルノゲイトウの被害について

- 農業用水路やポンプ場の入口を詰まらせると、農業への被害が発生します
(繁茂している場合には水路のフェンスを覆って、水路を閉塞することもあります)
- 用水路やあぜ道経由で水田に侵入し、一旦繁茂すると、除草剤が効きにくく、防除が困難(収穫が不能)になります
- 畑の中や休耕地にも侵入し、雑草化します

○ まん延防止対策について

【基本的な考え方】

- 早期発見・早期防除
⇒ 生長の初期、個体サイズが小さい場合には、簡単に対策が可能です
- 粘り強い対応
⇒ 拡大力・再生力が強く、わずかに生き残った個体から再生する可能性が高いため、粘り強く対応する必要があります
- 周囲への拡散を防止
⇒ 用水路や水田は水を介して下流域や農地と繋がりがあることから、被害を拡大させないためにも、水系として適切に管理することが必要です

【駆除方法】

● 刈り取りによる駆除方法

⇒駆除対象の大きさや現場条件に応じて、重機あるいは人力での刈り取りを検討してください(生長の初期や個体サイズが小さいうちに行うと有効です)

〈留意事項〉

①茎がちぎれやすく、ちぎれた茎から再生するので、断片が残らないように刈り取りを行ってください

②作業現場の下流に編み目の細かいフェンスを設置するなど、下流域への流出防止対策をしてください

③乾いた陸上でも枯れることなく、根付いて再生する可能性があるため、ブルーシートやアスファルトの上に置いてください

④重機で刈り取る場合には、重機等に断片が付着して運ばれる可能性があるため、作業後の移動の際には重機の洗浄等を行い、断片の流出防止対策をしてください

● 農薬を使った防除(水田、畦畔)

⇒水稲用の除草剤を使って防除を行う方法です

⇒畦畔ではグリホサートカリウム塩液剤が有効で、秋季(降霜の前)の散布が効果的です

〈留意事項〉

除草剤の使用に際しては、河川や湖沼に流出する可能性がある場所では使用しないでください

○ 関連リンク

■ ナガエツルノゲイトウ駆除マニュアル【農林水産省】

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/nagae.html

■ 外来種が農業水利施設に及ぼす影響と対策【農林水産省】

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/gairai.html

■ 特定外来生物の見分け方(同定マニュアル)【環境省】

<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/manual.html>

■ 豊かな農地を守るためにナガエツルノゲイトウ(特定外来生物)の侵入・定着を防ぎましょう【農研機構】

https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/139232.html

■ 外来生物対策指針 H20 年3月【農林水産省】

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/attach/pdf/index-8.pdf